

履修の手引き

(2022 年度以降入学者用)

1. 主な学事予定・年間スケジュール
 2. カリキュラムポリシー
 3. 授業構成（カリキュラム概略図）
 4. 授業構成（ナンバリング）
 5. 履修モデル
 6. 教育課程等の概要（授業科目一覧）
 7. 単位
 8. 履修登録
 9. GPA制度
 10. 授業運営
 11. 試験運営
 12. ディプロマポリシー／学位授与の条件
 13. ディプロマポリシー・コンピテンシー対応表
 14. 事務室の窓口業務等
-

カリキュラムポリシー

保健医療学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力を身に付けるために、授業科目を『基礎分野』『専門基礎分野』及び『専門分野』に区分し、それぞれの教育が有機的に連動し、基礎から応用、応用から発展に向けて段階的に関連性を持ち、体系的に学修できるようにカリキュラムを編成します。

学修成果は、授業科目の修得状況による客観的評価と、定期的に自己のパフォーマンスを評価する主観的評価とによって包括的に評価します。評価結果の活用を通じて、教育方法の改善につなげていきます。

<保健医療学部共通>

1. 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を持った理学療法士及び診療放射線技師を育成するため、『基礎分野』人間科学系の選択科目を学修して人間の理解を深め、演習やゼミナール、実習・実験で行うグループワークによって相手の立場に立って物事を考える大切さを認識し、臨床実習による医療現場において患者との対応を経験するなかで思いやりや態度を身につけることができるようにカリキュラムを編成します。
2. 医学と医療を総合的に理解し、科学的根拠に基づいた実践能力を修得し、主体的に行動できる能力を育成するために必要となる専門的知識・技術を着実に身につけ、高度な専門教育につながるカリキュラムを編成します。
3. 演習、ゼミナール、実習科目を通じて主体的に学修する能力と自己研鑽を続け、自己成長する態度を身につける教育を行います。
4. 「卒業研究」を必修科目として卒業論文を課し、卒業論文をまとめる過程を経験することにより主体性をもって研究を遂行できる能力を育成します。

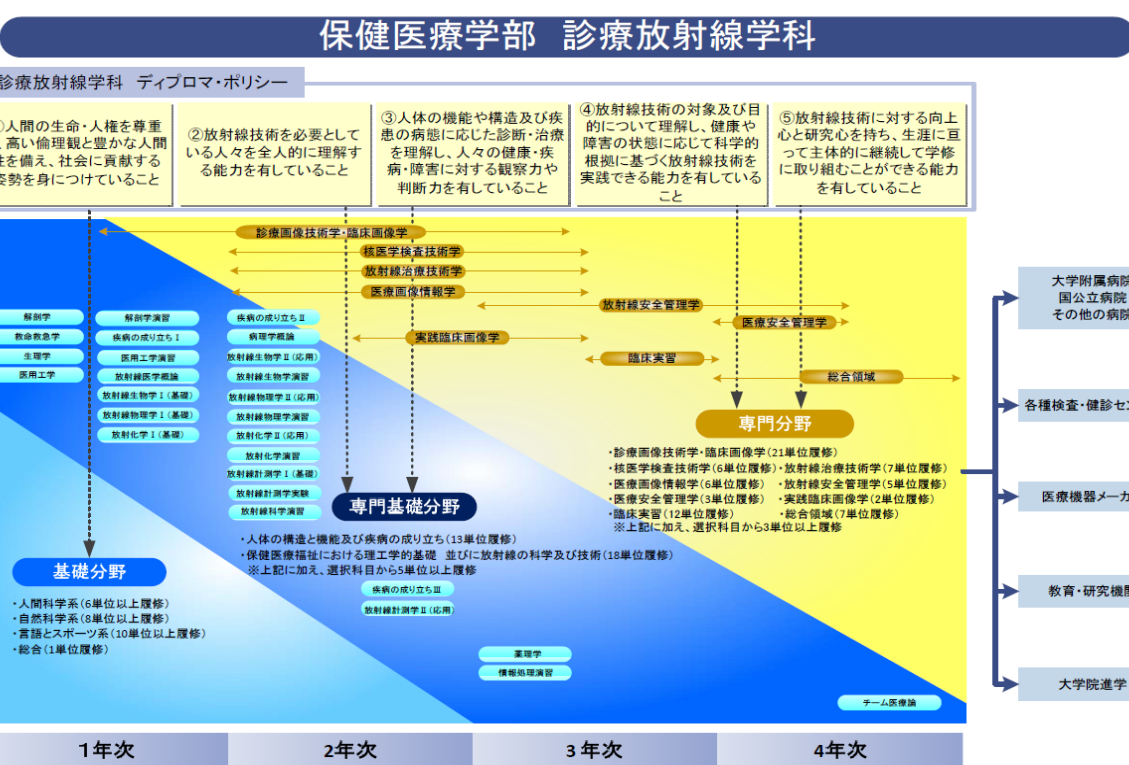
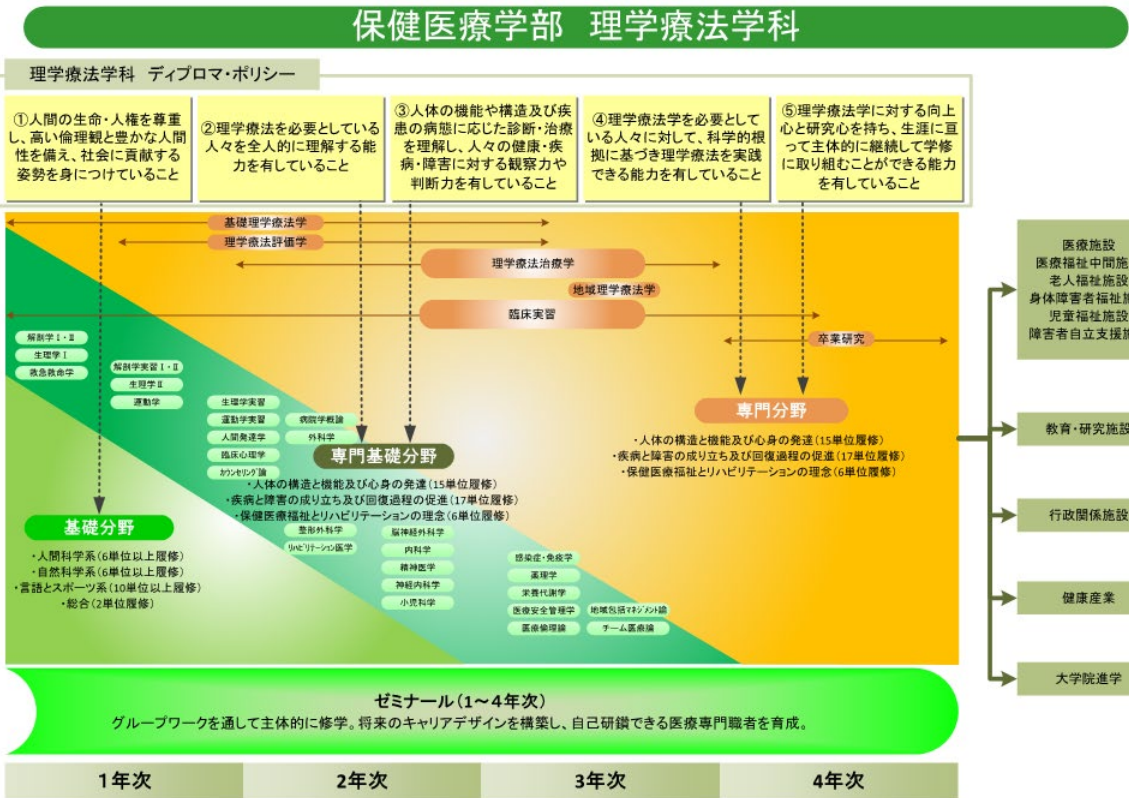
<理学療法学科>

1. 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を持った理学療法士を育成するため、『基礎分野』人間科学系の選択科目を学修して人間の理解を深め、演習やゼミナール、実習で行うグループワークによって相手の立場に立って物事を考える大切さを認識し、臨床実習による医療現場において患者との対応を経験するなかで思いやりや態度を身につけることができるようにカリキュラムを編成します。
2. 理学療法学の知識と基本となる理論を学修し、個人、家族及び地域社会の人々それぞれの健康レベルに応じて科学的根拠に基づいた理学療法の治療技術を着実に身につけるための授業科目を体系的に配置し、高度な専門教育に繋がるカリキュラムを編成します。
3. 演習やゼミナール、実習による授業や『専門分野』総合領域の授業「理学療法研究法」「卒業研究」を学修することにより、主体性を持って学修や研究を継続して遂行し、自己研鑽して自己成長する態度を修得できるようにカリキュラムを編成します。

<診療放射線学科>

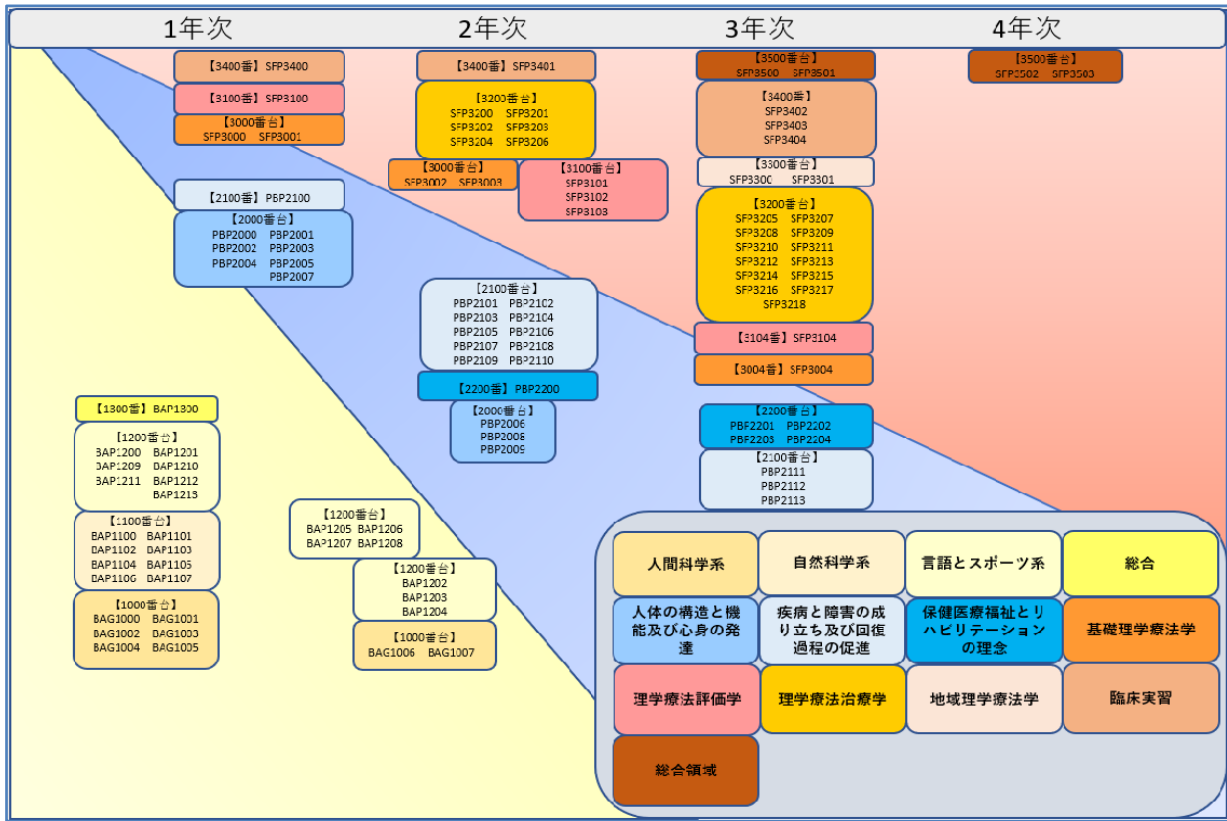
1. 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を持った診療放射線技師を育成するため、『基礎分野』人間科学系の選択科目を学修して人間の理解を深め、演習や実習で行うグループワークによって相手の立場に立って物事を考える大切さを認識し、臨床実習による医療現場において患者との対応を経験するなかで思いやりや態度を身につけることができるようにカリキュラムを編成します。
2. 医学と医療を総合的に理解し、放射線医学領域に係る専門的知識と技術を着実に身につけるための授業科目を体系的に配置し、高度な専門教育に繋がるカリキュラムを編成します。
3. 演習・実習・実験による授業や『専門分野』総合領域の授業「卒業研究」を通して学修することにより、主体性を持って学修や研究を継続して遂行し、自己研鑽して自己成長する態度を修得できるようにカリキュラムを編成します。

授業構成(カリキュラム概略図)

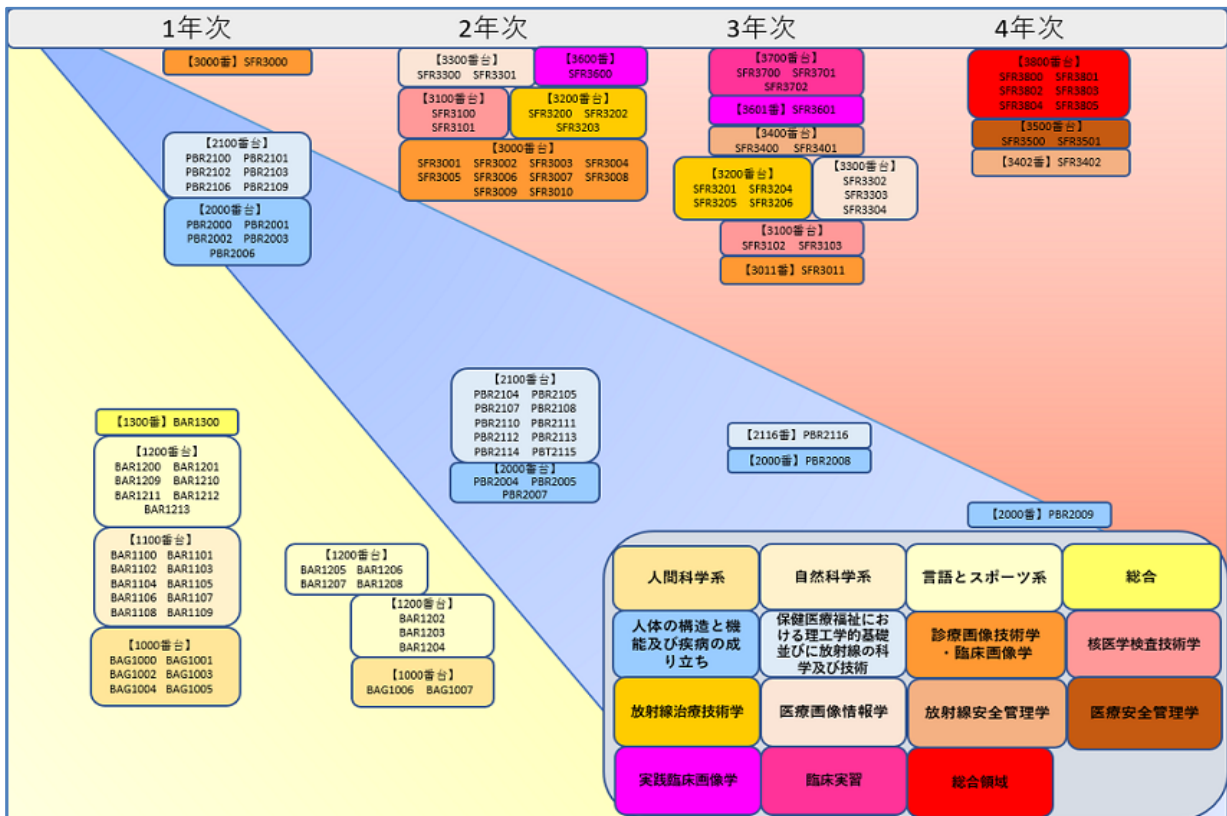


授業構成(ナンバリング)

理学療法学科



診療放射線学科



履修モデル

理学療法学科 履修モデルⅠ 病院・診療所等の医療施設への就職を志望するモデル

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間科学	現代社会と倫理 2	人間関係論(コミュニケーション)	2	社会保障制度と医療経済 2				
自然科学	基礎化学 1	統計学 2						
基礎分野	基礎生物学 1	生命現象の科学 2						
	英語Ⅰ 2	英語Ⅱ 2		医療英語 2				
	言語とスポーツ 1	国語表現法 2						
	スポーツ健康運動方法論 1							
総合	フレッシャーズセミナー 1	フレッシャーズセミナー 1						
	解剖学Ⅰ 2	解剖学実習Ⅰ 1						
	解剖学Ⅱ 2	解剖学実習Ⅱ 1						
人体の構造と機能及び心身の発達	生理学Ⅰ 2	生理学実習 1						
	運動学 2	運動学実習 1						
		人間発達学 1						
救命救急学	1	臨床心理学 1		脳神経外科学 1				
		カウンセリング論 1		内科学 2				
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		病理解論 1		精神医学 1				
		外科学 1		神経内科学 2				
		整形外科 2		小児科学 1				
理念		リハビリテーション医学 2		医療安全管理学 1				
				医療倫理論 1				
				理学療法基礎セミナー 1				
基礎理学療法学	2	理学療法基礎セミナー 2		理学療法基礎セミナー 1				
		日常生活活動学 2						
		検査・測定学 2						
理学療法評価学		運動療法評価学 2		運動療法評価学実習 1				
				神経系理学療法学 2				
				内臓器系理学療法学 2				
理学療法治療学		運動器系理学療法学 2		運動器系理学療法学実習 1				
				物理療法学 2				
				物理療法学実習 1				
				物理療法学実習 2				
				臨床実習Ⅱ(検査・測定) 1				
地域理学療法学								
臨床実習								
総合領域								
各期合計	19	19	21	21	19	21	21	15
4年間合計	132 以上							

履修モデル

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
理学療法学科 履修モデルII スポーツリハビリテーション関連の就職を志望するモデル									
人間科学 自然科学 基礎分野	人間科学	2	人間関係(コミュニケーション)	2	社会保障制度と医療経済				
	基礎物理学	2	生化学						
	情報科学	2	生命現象の科学						
	英語I	2	英語II						
	言語とスポーツ	2	図像表現法						
	スポーツ健康運動方法論	1							
	総合	1	海外スポーツ実習II(インター)	1					
		1	フレッシュヤーズゼミ	1					
		2	解剖学実習I	1					
		2	解剖学実習II	1					
人体の構造と機能及び心身の発達	生理学I	2	生理学II	1					
	運動学	2	運動学実習	1					
	救命救急学	1	人間発達学	1					
		1	臨床心理学	1					
		1	脳神経外科学	1					
		2	内科学	2	感染症・免疫学	1			
		1	精神医学	1	薬理学	1			
		2	神経内科学	2	栄養代謝学	1			
		2	小児科学	2					
		2	リハビリテーション医学	2	医療安全管理学	1	地域包括マネジメント論	1	
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	理学療法概論	2	理学療法基礎セミナー	1	理学療法基礎セミナー	1			
		2	日常生活活動学実習	1					
		2	検査・測定学実習	1					
		2	運動療法評価学実習	2					
		2	神経系理学療法学	2	神経系理学療法学実習	1	リハビリテーション工学	1	
		2	内臓器系理学療法学	2	内臓器系理学療法学実習	1			
		2	運動器系理学療法学	2	運動器系理学療法学実習	1	スポーツ理学療法学実習	1	
		2	物理療法学	2	物理療法学実習	1	運動器系理学療法学実習	1	
		2	物理療法学実習	2	物理療法学実習	1	急性期理学療法学実習	1	
		2	地域理学療法学	2	地域理学療法学I	2	高齢者理学療法学実習	1	
理学療法概論	理学療法概論	2	理学療法概論	1	理学療法概論	1			
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
		2	理学療法概論	1					
理学療法評価学	理学療法評価学	2	理学療法評価学	1	理学療法評価学	1			
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
		2	理学療法評価学	1					
理学療法実習	理学療法実習I(見学)	1	臨床実習II(検査・測定)	1	臨床実習II(検査・測定)	1			
		1	臨床実習III(評価)	1	臨床実習III(評価)	1			
		1	臨床実習IV(インターン)	12	臨床実習IV(インターン)	12			
		1	臨床実習V(地域)	1	臨床実習V(地域)	1			
		1	卒業研究	1	卒業研究	1			
		1	理学療法ゼミナール	1	理学療法ゼミナール	1			
		1	理学療法ゼミナール	1	理学療法ゼミナール	1			
		1	理学療法ゼミナール	1	理学療法ゼミナール	1			
		1	理学療法ゼミナール	1	理学療法ゼミナール	1			
		1	理学療法ゼミナール	1	理学療法ゼミナール	1			
各期合計	20	1年後期	22	2年後期	21	3年後期	15	4年後期	2
4年間合計 132以上									

履修モデル

理学療法学科 履修モデルⅢ 福祉施設への就職を志望するモデル

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間科学	社会学概論 2	人間関係(コミュニケーション)	社会学概論と医療経済 2					
基礎分野	自然科学	統計学 1						
		生化学 1						
	英語 I 2	英語 II 2	中国語 I 2	中国語 II 2				
	言語とスポーツ	スポーツ理論・実技 1						
	スポーツ健康運動方法論 1							
総合	フレッシューズゼミ 1	フレッシューズゼミ 1						
	解剖学 I 2	解剖学実習 I 1						
	解剖学 II 2	解剖学実習 II 1						
人体の構造と機能及び心身の発達	生理学 I 2	生理学実習 2	生理学 1					
	運動学 2	運動学実習 2	運動学 1					
人間発達学 1	人間発達学 1	人間発達学 1						
救命救急学 1	救命救急学 1	救命救急学 1						
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	脳神経外科学 1	脳神経外科学 1	脳神経外科学 1					
	内科学 1	内科学 1	内科学 1					
	カウンセリング論 1	カウンセリング論 1	カウンセリング論 1					
	病理学概論 1	病理学概論 1	病理学概論 1					
	外科学 1	外科学 1	外科学 1					
	整形外科学 2	整形外科学 2	整形外科学 2					
	リハビリテーション医学 2	リハビリテーション医学 2	リハビリテーション医学 2					
理学療法基礎ゼミナール 1	理学療法基礎ゼミナール 1	理学療法基礎ゼミナール 1						
理学療法概論 2	理学療法概論 2	理学療法概論 2						
日常生活活動学 2	日常生活活動学 2	日常生活活動学 2						
検査・測定学 2	検査・測定学 2	検査・測定学 2						
運動療法評価学 2	運動療法評価学 2	運動療法評価学 2						
神経系理学療法学 2	神経系理学療法学 2	神経系理学療法学 2						
内臓呼吸系理学療法学 2	内臓呼吸系理学療法学 2	内臓呼吸系理学療法学 2						
運動器系理学療法学 2	運動器系理学療法学 2	運動器系理学療法学 2						
物理療法学 2	物理療法学 2	物理療法学 2						
物理療法学実習 1	物理療法学実習 1	物理療法学実習 1						
薬師器具学 1	薬師器具学 1	薬師器具学 1						
薬師器具学演習 1	薬師器具学演習 1	薬師器具学演習 1						
地域理学療法学 I 2	地域理学療法学 I 2	地域理学療法学 I 2						
臨床実習 II (検査・測定) 1	臨床実習 II (検査・測定) 1	臨床実習 II (検査・測定) 1						
理学療法研究法 1	理学療法研究法 1	理学療法研究法 1						
理学療法ゼミナール 1	理学療法ゼミナール 1	理学療法ゼミナール 1						
各期合計	19	19	23	19	21	15	14	2
4年間合計	132 以上							

教育課程等の概要(授業科目一覧)

<理学療法学科>

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
基礎分野	人間科学系	現代社会と倫理	1	前		2	必修2単位に加え 選択から4単位以上	BAG1000
		心理と行動	1	前		2		BAG1001
		社会学概論	1	前		2		BAG1002
		人間関係論(コミュニケーション論)	1	後	2			BAG1003
		法と社会(日本国憲法)	1	後		2		BAG1004
		人権とジェンダー	1	後		2		BAG1005
		社会保障制度と医療経済	2	前		2		BAG1006
		世界と日本現代史	2	前		2		BAG1007
	自然科学系	基礎化学	1	前		1	選択から6単位以上	BAP1100
		基礎生物学	1	前		1		BAP1101
		基礎物理学	1	前		1		BAP1102
		基礎数学	1	前		1		BAP1103
		情報科学	1	前		1		BAP1104
		統計学	1	後		2		BAP1105
		生化学	1	後		2		BAP1106
		生命現象の科学	1	後		2		BAP1107
	言語とスポーツ系	英語Ⅰ	1	前	2		必修6単位に加え 選択から4単位以上	BAP1200
		英語Ⅱ	1	後	2			BAP1201
		英語表現Ⅰ	2	前		2		BAP1202
		英語表現Ⅱ	2	後		2		BAP1203
		医療英語	2	後		2		BAP1204
		中国語Ⅰ	1・2	前		2		BAP1205
		中国語Ⅱ	1・2	後		2		BAP1206
		フランス語Ⅰ	1・2	前		2		BAP1207
		フランス語Ⅱ	1・2	後		2		BAP1208
		国語表現法	1	後		2		BAP1209
		スポーツ理論・実技	1	前	1			BAP1210
		スポーツ健康運動方法論	1	前	1			BAP1211
		野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)	1	前		1		BAP1212
		野外スポーツ実習Ⅱ(ウィンター)	1	後		1		BAP1213
	総合	フレッシュャーズゼミナール	1	通	2		必修2単位	BAP1300
	基礎分野 計(卒業要件)						24	

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング
				必修	選択		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1	前	2	必修 15単位	PBP2000
		解剖学Ⅱ	1	前	2		PBP2001
		解剖学実習Ⅰ	1	後	1		PBP2002
		解剖学実習Ⅱ	1	後	1		PBP2003
		生理学Ⅰ	1	前	2		PBP2004
		生理学Ⅱ	1	後	2		PBP2005
		生理学実習	2	前	1		PBP2006
		運動学	1	後	2		PBP2007
		運動学実習	2	前	1		PBP2008
		人間発達学	2	前	1		PBP2009
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救命救急学	1	前	1	必修 17単位	PBP2100
		臨床心理学	2	前	1		PBP2101
		カウンセリング論	2	前	1		PBP2102
		病理学概論	2	前	1		PBP2103
		外科学	2	前	1		PBP2104
		整形外科学	2	前	2		PBP2105
		脳神経外科学	2	後	1		PBP2106
		内科学	2	後	2		PBP2107
		精神医学	2	後	1		PBP2108
		神経内科学	2	後	2		PBP2109
		小児科学	2	後	1		PBP2110
		感染症・免疫学	3	前	1		PBP2111
		薬理学	3	前	1		PBP2112
	栄養代謝学	3	前	1	PBP2113		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	2	前	2	必修 6単位	PBP2200
		医療倫理論	3	前	1		PBP2201
		医療安全管理学	3	前	1		PBP2202
		地域包括マネジメント論	3	後	1		PBP2203
		チーム医療論	3	後	1		PBP2204
	専門基礎分野 計 (卒業要件)						38

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1	前	2		必修 9 単位	SFP3000
		日常生活活動学	1	後	2			SFP3001
		日常生活活動学実習	2	前	1			SFP3002
		理学療法基礎ゼミナール	2	通	2			SFP3003
		理学療法管理学	3	前	2			SFP3004
	理学療法評価学	検査・測定学	1	後	2		必修 7 単位	SFP3100
		検査・測定学演習	2	前	1			SFP3101
		運動療法評価学	2	前	2			SFP3102
		運動療法評価学実習	2	後	1			SFP3103
		理学療法画像評価学	3	前	1			SFP3104
	理学療法治療学	物理療法学	2	後	2		選必修 から 2 から 0 4 単位 に 加 え	SFP3200
		物理療法学実習	2	後	1			SFP3201
		運動器系理学療法学	2	前	2			SFP3202
		運動器系理学療法学実習	2	後	1			SFP3203
		神経系理学療法学	2	後	2			SFP3204
		神経系理学療法学実習	3	前	1			SFP3205
		内部障害系理学療法学	2	後	2			SFP3206
		内部障害系理学療法学実習	3	前	1			SFP3207
		発達障害系理学療法学	3	前	2			SFP3208
		スポーツ理学療法学	3	前	2			SFP3209
		義肢装具学	3	前	2			SFP3210
		義肢装具学演習	3	前	1			SFP3211
		リハビリテーション工学	3	後	1			SFP3212
		発達障害系理学療法学演習	3	後		1		SFP3213
		スポーツ理学療法学演習	3	後		1		SFP3214
		関節障害理学療法学演習	3	後		1		SFP3215
		認知神経理学療法学演習	3	後		1		SFP3216
		急性期理学療法学演習	3	後		1		SFP3217
	高齢者理学療法学演習	3	後		1	SFP3218		
	学療理地 学域	地域理学療法学Ⅰ	3	前	2		4 必 位 単 修	SFP3300
		地域理学療法学Ⅱ	3	後	2			SFP3301
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学）	1	前	1		必修 2 0 単 位	SFP3400
		臨床実習Ⅱ（検査・測定）	2	前	1			SFP3401
臨床実習Ⅲ（評価）		3	後	5		SFP3402		
臨床実習Ⅳ（インターン）		4	前	12		SFP3403		
臨床実習Ⅴ（地域）		4	前	1		SFP3404		
総合領域	理学療法研究法	3	前	1		必修 6 単 位	SFP3500	
	理学療法ゼミナール	3	通	2			SFP3501	
	卒業研究	4	通	2			SFP3502	
	理学療法学セミナー	4	後	1			SFP3503	
専門分野 計（卒業要件）						70		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><卒業要件> 必修114単位、選択18単位以上、合計132単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p><履修方法> ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「現代社会と倫理」「心理と行動」「社会学概論」「法と社会(日本国憲法)」「人権とジェンダー」「社会保障制度と医療経済」「世界と日本現代史」から4単位以上修得すること。 ・基礎分野の「自然科学系」は、「基礎化学」「基礎生物学」「基礎物理学」「基礎数学」「情報科学」「統計学」「生化学」「生命現象の科学」から6単位以上修得すること。 ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「国語表現法」「野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)」「野外スポーツ実習Ⅱ(ウインター)」から4単位以上修得すること。 ・基礎分野の「総合」は、必修2単位修得すること。 ・専門基礎分野「人体の構造と機能及び心身の発達」は、必修15単位修得すること。 ・専門基礎分野「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」は、必修17単位修得すること。 ・専門基礎分野「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」は、必修6単位修得すること。 ・専門分野「基礎理学療法学」は、必修9単位修得すること。 ・専門分野「理学療法評価学」は、必修7単位修得すること。 ・専門分野「理学療法治療学」は、必修20単位に加え、「発達障害系理学療法学演習」「スポーツ理学療法学演習」「関節障害理学療法学演習」「認知神経理学療法学演習」「急性期理学療法学演習」「高齢者理学療法学演習」から4単位以上修得すること。 ・専門分野「地域理学療法学」は、必修4単位修得すること。 ・専門分野「臨床実習」は、必修20単位修得すること。 ・専門分野「総合領域」は、必修6単位修得すること。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

〈診療放射線学科〉

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
基礎分野	人間科学系	現代社会と倫理	1	前		2	選択から6単位以上	BAG1000
		心理と行動	1	前		2		BAG1001
		社会学概論	1	前		2		BAG1002
		人間関係論（コミュニケーション論）	1	後		2		BAG1003
		法と社会（日本国憲法）	1	後		2		BAG1004
		人権とジェンダー	1	後		2		BAG1005
		社会保障制度と医療経済	2	前		2		BAG1006
		世界と日本現代史	2	前		2		BAG1007
	自然科学系	基礎化学	1	前		1	必修4単位に加え 選択から4単位以上	BAR1100
		基礎生物学	1	前		1		BAR1101
		基礎物理学	1	前		1		BAR1102
		応用物理学	1	前	2			BAR1103
		基礎数学	1	前		1		BAR1104
		応用数学	1	後	2			BAR1105
		情報科学	1	前		1		BAR1106
		統計学	1	後		2		BAR1107
		生化学	1	後		2		BAR1108
		生命現象の科学	1	後		2		BAR1109
	言語とスポーツ系	英語 I	1	前	2		必修6単位に加え 選択から4単位以上	BAR1200
		英語 II	1	後	2			BAR1201
		英語表現 I	2	前		2		BAR1202
		英語表現 II	2	後		2		BAR1203
		医療英語	2	後		2		BAR1204
		中国語 I	1・2	前		2		BAR1205
		中国語 II	1・2	後		2		BAR1206
		フランス語 I	1・2	前		2		BAR1207
		フランス語 II	1・2	後		2		BAR1208
		国語表現法	1	後		2		BAR1209
		スポーツ理論・実技	1	前	1			BAR1210
		スポーツ健康運動方法論	1	前	1			BAR1211
		野外スポーツ実習 I（サマー）	1	前		1		BAR1212
		野外スポーツ実習 II（ウィンター）	1	後		1		BAR1213
	総合	キャリアデザインゼミナール	1	前	1		必修1単位	BAR1300
基礎分野 計（卒業要件）						25		

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング
				必修	選択		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖学	1	前	2		PBR2000
		解剖学演習	1	後	1		PBR2001
		救命救急学	1	前	1		PBR2002
		疾病の成り立ちⅠ (感覚器系・脳神経・脳血管系)	1	後	2		PBR2003
		疾病の成り立ちⅡ (消化器系・腎臓器系)	2	前	2		PBR2004
		疾病の成り立ちⅢ (呼吸器系・循環器系)	2	後	2		PBR2005
		生理学	1	前	2		PBR2006
		病理学概論	2	前	1		PBR2007
		薬理学	3	前		1	PBR2008
		チーム医療論	4	後		1	PBR2009
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	医用工学	1	前	2		PBR2100
		医用工学演習	1	後	1		PBR2101
		放射線医学概論	1	後	2		PBR2102
		放射線生物学Ⅰ (基礎)	1	後	2		PBR2103
		放射線生物学Ⅱ (応用)	2	前	1		PBR2104
		放射線生物学演習	2	前		1	PBR2105
		放射線物理学Ⅰ (基礎)	1	後	2		PBR2106
		放射線物理学Ⅱ (応用)	2	前	1		PBR2107
		放射線物理学演習	2	前		1	PBR2108
		放射化学Ⅰ (基礎)	1	後	2		PBR2109
		放射化学Ⅱ (応用)	2	前	1		PBR2110
		放射化学演習	2	前		1	PBR2111
		放射線計測学Ⅰ (基礎)	2	前	2		PBR2112
		放射線計測学Ⅱ (応用)	2	後	1		PBR2113
		放射線計測学実験	2	前	1		PBR2114
		放射線科学演習	2	前		1	PBR2115
	情報処理演習 (プログラミング)	3	前		1	PBR2116	
専門基礎分野 計 (卒業要件)						36	

※専門基礎分野から左記に加え選択5単位以上

必修13単位

必修18単位

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
専門分野	診療画像技術学・臨床画像学	診療画像機器学概論	1	後	1		SFR3000	
		診療画像機器学Ⅰ（X線発生装置関係）	2	前	2		SFR3001	
		診療画像機器学Ⅱ（X線システム関係）	2	後	2		SFR3002	
		診療画像技術学Ⅰ（一般・マンモグラフィ）	2	前	2		SFR3003	
		診療画像技術学Ⅱ（透視検査・血管造影）	2	後	2		SFR3004	
		診療画像技術学Ⅲ（X線CT）	2	前	2		SFR3005	
		診療画像技術学Ⅳ（MRI）	2	後	2		SFR3006	
		診療画像技術学Ⅴ（超音波検査・眼底検査）	2	後	1		SFR3007	
		臨床画像学概論	2	後	1		SFR3008	
		画像解剖学Ⅰ（中枢神経系、腎臓、膵臓部、骨格系）	2	前	2		SFR3009	
		画像解剖学Ⅱ（体幹部）	2	後	2		SFR3010	
	放射線診断学	3	前	2		SFR3011		
	核医学検査	放射性医薬品学	2	前	1		SFR3100	
		核医学検査技術学Ⅰ	2	後	2		SFR3101	
		核医学検査技術学Ⅱ	3	前	2		SFR3102	
		核医学検査技術学実習	3	前	1		SFR3103	
	放射線治療技術学	がん医療科学	2	前		1	SFR3200	
		放射線腫瘍学	3	前	2		SFR3201	
		放射線治療物理学	2	後		1	SFR3202	
		放射線治療技術学Ⅰ	2	後	2		SFR3203	
		放射線治療技術学Ⅱ	3	前	2		SFR3204	
		放射線治療機器学	3	前		1	SFR3205	
	放射線治療技術学実習	3	前	1		SFR3206		
	医療画像情報学	医療画像情報学	2	後	2		SFR3300	
		医療画像情報学実習	2	後	1		SFR3301	
		医療画像工学	3	前	2		SFR3302	
		医療画像工学実験	3	前	1		SFR3303	
	放射線安全管理学	放射線安全管理学	3	前	2		SFR3400	
		放射線安全管理学実験	3	前	1		SFR3401	
		放射線関係法規	4	前	2		SFR3402	
	医療安全管理学	医療倫理論	4	前	1		SFR3500	
		医療安全管理学	4	前	2		SFR3501	
	臨床画像実践	臨床画像学実習Ⅰ（基本）	2	後	1		SFR3600	
		臨床画像学実習Ⅱ（応用）	3	前	1		SFR3601	
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（診療画像技術学）	3	後	6		SFR3700	
		臨床実習Ⅱ（核医学検査技術学）	3	後	3		SFR3701	
		臨床実習Ⅲ（放射線治療技術学）	3	後	3		SFR3702	
	総合領域	卒業研究Ⅰ（基礎）	4	前	2		SFR3800	
		卒業研究Ⅱ（応用）	4	後	2		SFR3801	
		診療放射線総合演習Ⅰ（基礎）	4	前	1		SFR3802	
		診療放射線総合演習Ⅱ（応用）	4	後	1		SFR3803	
		診療放射線学セミナー	4	後	1		SFR3804	
		放射線科学特論	4	前		1	SFR3805	
	専門分野 計（卒業要件）						72	

※専門分野から左記に加え選択3単位以上

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><卒業要件> 必修111単位、選択22単位以上、合計133単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p><履修方法> ・基礎分野の「人間科学系」は、「現代社会と倫理」「心理と行動」「社会学概論」「人間関係論(コミュニケーション論)」「法と社会(日本国憲法)」「人権とジェンダー」「社会保障制度と医療経済」「世界と日本現代史」から6単位以上修得すること。 ・基礎分野の「自然科学系」は、必修4単位に加え、「基礎化学」「基礎生物学」「基礎物理学」「基礎数学」「情報科学」「統計学」「生化学」「生命現象の科学」から4単位以上修得すること。 ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「国語表現法」「野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)」「野外スポーツ実習Ⅱ(ウインター)」から4単位以上修得すること。 ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。 ・専門基礎分野「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」は、必修13単位修得すること。 ・専門基礎分野「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」は、必修18単位修得すること。 ・専門基礎分野は必修に加え、「薬理学」「チーム医療論」「放射線生物学演習」「放射線物理学演習」「放射化学演習」「放射線科学演習」「情報処理演習」から5単位以上修得すること。 ・専門分野「診療画像技術学・臨床画像学」は、必修21単位修得すること。 ・専門分野「核医学検査技術学」は、必修6単位修得すること。 ・専門分野「放射線治療技術学」は、必修7単位修得すること。 ・専門分野「医用画像情報学」は、必修6単位修得すること。 ・専門分野「放射線安全管理学」は、必修5単位修得すること。 ・専門分野「医療安全管理学」は、必修3単位修得すること。 ・専門分野「実践臨床画像学」は、必修2単位修得すること。 ・専門分野「臨床実習」は、必修12単位修得すること。 ・専門分野「総合領域」は、必修7単位修得すること。 ・専門分野は必修に加え、「がん医療科学」「放射線治療物理学」「放射線治療機器学」「放射線科学特論」から3単位以上修得すること。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

単位

◆卒業所要単位数について

すべての科目には単位が定められており、科目を履修登録して授業に出席し、試験に合格すれば単位が修得できます。卒業するための最低必要単位数は理学療法学科132単位、診療放射線学科133単位であり、原則4年間で修得することが求められます。また、修得するための詳細規則がありますので十分注意してください。詳細規則は、「教育課程等の概要（授業科目一覧）」を確認してください。

◆留学等に基づく単位互換について

留学等により、内容によっては一定の基準に基づき、単位を互換できる場合があります。実施要領や単位互換に関する詳細は、保健医療学部事務室（お茶の水センタービル1階）にお問い合わせください。

◆他大学等で習得した単位の認定について

他の大学および短期大学にて習得した単位がある場合、内容によっては一定の基準に基づき、単位を互換できる場合があります。実施要領や単位互換に関する詳細は、保健医療学部事務室（お茶の水センタービル1階）にお問い合わせください。

履修登録

◆登録期間について

今年度の登録日程は以下の通りです。期間内に必ず手続きを行いましょう。

なお、後期（秋季）履修登録の際は、前期（春季）履修登録の状況により、追加登録できない科目が発生することが考えられます。従って、前期（春季）履修登録時に後期（秋季）分も含めた計画的な履修登録を行ってください。

所定の期限後の手続きは、いかなる事由でも受付できません。十分に注意してください。

<前期（春季）登録等日程>

内 容	実施期間	備 考
履修登録	2023年 4月6日（木）～ 2023年 4月14日（金）	登録は、Juntendo-Passport にて行ってください。 1年間（前期・後期分）の履修科目を全て登録してください。 登録期間内であれば随時修正が可能です。 時間割表は必ず印刷して大切に保存してください。 ※抽選科目は4月10日（月）13時まで
確認及び修正	2023年 4月20日（木）～ 2023年 4月21日（金）	確認は、Juntendo-Passport にて行ってください。 万が一、①申請内容が反映されていない、②申請していない科目が登録されている、③抽選漏れ の場合は窓口にて修正を受付けます。 修正申請の際は、 <u>登録時の時間割表と現在の時間割表のコピー</u> を持参してください。 *時間割表のコピーがない場合は修正受付できません。 *再修正は不可（修正の取り消し、後日追加で修正申請など）
最終確認	2023年 4月27日（木）	確認は、Juntendo-Passport にて行ってください。 ここでは、内容に誤りがあっても変更できません。 時間割表は必ず印刷して大切に保存してください。

<後期（秋季）登録等日程>

内 容	実施期間	備 考
履修登録	2023年9月21日（木）～ 2023年9月27日（水）	登録は、Juntendo-Passport にて行ってください。 後期科目でも前期の履修登録状況により追加できない場合があります。 登録の取消しも出来ますが、前期・通年科目や必修科目は取消しできません。 登録期間内であれば随時修正が可能です。 時間割表は必ず印刷して大切に保存してください。
確認及び修正	2023年10月3日（火）～ 2023年10月5日（木）	前期の要領に従い、確認及び修正してください。
最終確認	2023年10月12日（木）	前期の要領に従い、確認してください。

※窓口修正について第2土曜日・日曜日・祝日は受付できません。

◆登録方法について

履修登録は Juntendo-Passport で各自行っていただきます。登録方法は、別途配付する「履修登録ガイドンスブック」を参考に手続きを行ってください。登録期間外はいかなる理由があっても受付できませんのでご注意ください。

◆履修登録の上限設定について

各学年には、履修登録ができる上限単位数が設定されています。やみくもに履修を登録するのではなく、登録した授業について十分な学習時間を確保してもらうためです。

各学年で登録できる上限数は、以下の通りです。

	1年次	2年次	3年次	4年次
理学療法学科	46単位	46単位	40単位	40単位
診療放射線学科	46単位	46単位	40単位	40単位

*後述する履修中止制度を利用して中止した科目や履修したが試験の結果不合格となり、単位取得できなかった科目も含まれます。

◆科目の分類について

科目の名称は、性質により以下の3つに分類されています。各科目の性質をきちんと理解のうえ間違いのないように履修計画を行ってください。

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定された科目群の中から履修し、所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択して履修し、単位を修得できる科目

また、開講する時期によっても名称が分類されています。

前期科目	前期（春季）に開講される科目。後期（秋季）には開講されません。 *授業形態や単位数によって授業回数（8コマ/15コマ等）が異なります。
後期科目	後期（秋季）に開講される科目。前期（春季）には開講されません。 *授業形態や単位数によって授業回数（8コマ/15コマ等）が異なります。
通年科目	前期（春季）及び後期（秋季）を通じて開講される科目。 *授業形態や単位数によって授業回数（15コマ/30コマ等）が異なります。
集中科目	通常の授業形式とは異なり、土曜日や夏季・春季長期休暇期間などを利用して短期間で集中的に授業を実施する授業形式のことをいいます。

◆配当年次（開講年次）について

各科目には、履修登録が可能な学年が設定されています。自分が所属する学年でどの科目が開講されているのか確認してみましょう。

◆上級学年の履修登録について

自分が所属する学年よりも上級学年の科目については、履修登録することが出来ません。ただし、下級学年の科目については、履修登録し、受講することが可能です。

◆必修科目や選択必修科目について

原則、配当年次（開講年次）で単位修得することを目指しましょう。「1年生の必修科目だけど3年生になったら履修登録して受講しよう」などと先延ばしにしておくと、将来的に時間割が重複し4年間での卒業が困難になってしまう危険性も考えられます。また、科目によっては、「A科目を単位修得しなければB科目を履修登録できない」という条件が設定されている場合もあります。

従って、「自分の学年で開講している科目は、その年度内で修得する」という気持ちで授業に臨みましょう。

◆同一科目の再履修について

一度、単位を修得した科目を改めて履修登録し、受講し直すことはできません。

◆クラス分けについて

以下に示した科目については、クラス分けを行います。受講にあたっては、大学が指定するクラスを受講してください。初回授業開始までに発表しますので、事前に確認のうえ自身のクラスを間違えないよう注意しましょう。

科目区分	科目名称
〈基礎分野〉	英語Ⅰ
言語とスポーツ系	英語Ⅱ

◆履修抽選について

教室の収容定員超過や授業を実施するうえで適切な上限人数などの理由から、やむを得ず受講者の抽選を行うことがあります。

抽選の対象者は「抽選となる科目に① 初週の授業から出席し、② 履修登録手続きを行った者(集中科目は②のみ)」となります。

抽選結果は大学から発表しますので各自確認し、結果に応じて「確認及び修正期間」に履修の修正を行ってください。但し、新たに追加しようとする科目の受講は、初週から出席し履修登録を行った学生が優先されること、追加できる科目は限定されること、などの制限が生じる点はご了承ください。

なお、出席せずに修正申請しても受理できませんので注意してください。その他、別途大学からの詳細指示がある場合には、それに従って手続きを行ってください。

◆初回の授業から必ず出席しましょう

初回の授業では、今後の授業スケジュールや評価方法など重要項目について説明があります。受講者が多い場合には、やむを得ず抽選を行うこともあります。履修を希望する科目は必ず出席してください。欠席により重要な説明を聞き逃した、ということが無いようにしてください。

◆次年度以降の時間割について

皆さんに配付された時間割は、4年生まで固定されたものではありません。やむを得ない事情により来年度以降の時間割を変更する可能性があります。

配当年次は、皆さんが十分な予習・復習時間を確保できるように組まれていますので、ぜひ配当年次(開講年次)での履修を心掛け、配当年次内での単位修得を目指しましょう。「今年度は楽しよう」などと履修を先延ばしにしておくと、将来的に時間割が重複し4年間での卒業が困難となる危険性が考えられます。十分に気をつけましょう。

◆履修中止制度について

履修中止制度とは履修中の科目について確認及び修正期間（前期：4月、後期：10月）を過ぎてから病気等のやむを得ない事由により履修を継続することが困難となった場合、所定の期間内であれば登録した科目を中止する手続きが認められています。履修中止制度は後述するGPA制度とも深く関係しています。GPA制度についてもよく目を通しておいてください。

学期	申請期間	対象科目
前期 (春季)	2023年6月19日（月）～ 2023年6月20日（火）	必修科目を除いた前期科目、集中科目
後期 (秋季)	2023年12月11日（月）～ 2023年12月12日（火）	必修科目を除いた後期科目、集中科目

◆申請可能な事由について

以下の事由の場合、上記の申請期間に手続きを行うことができます。

- 傷病により長期入院、長期加療が必要となった場合（診断書を添付すること）
- 履修本登録、確認及び修正期間までに開講（実習）日が未定、または変更された為に予め履修登録した授業科目の開講（実習）日・時限と重複が生じた場合
- 確認及び修正期間以降に、履修抽選漏れとなった場合
- 国際教養学部長が特に履修中止の事由に値すると認めた場合

◆「履修中止」と「履修登録」の関係について

（設定）4月の履修登録時に履修登録単位数の上限数まで登録した。

事例	可否
前期試験を受験の結果、不合格となり単位を修得できなかった場合、修得できなかった単位数を補うために後期の履修登録で新たな科目を登録できるか。	×
前期の途中で履修中止手続きを行った。中止した単位数を補うために当該学期の新たな科目を遡及的に登録できるか。（後期も同様）	×
前期の途中で履修中止手続きを行った。中止した単位数を補うために後期の履修登録で新たな科目を登録できるか。	○

GPA制度

GPA (Grade Point Average) とは所定の換算ルールに基づき算出されたGP (Grade Point) の平均値を示したものです。

単位制度における学生の「学習の質」を示す指標となり個々の学習状況をより明確にする目的とし本学部においても導入します。

GPAは、留学する際に海外の受入大学が受入条件として設定していることが非常に多いため、注意が必要です。また、本学部の様々な学内選考の指標の1つとしても扱う予定です。

具体的な計算方法

$$\frac{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不合格（D）」の単位数を含む。履修中止科目は除外する。）}}$$

* 卒業要件とならない科目は、GPAの算出から除外する。

授業運営

◆授業期間

1年間の授業は前期と後期に大きく分かります。授業の開始日や終了日、試験期間や補講期間などは年間スケジュール表で確認してください。

◆授業時間

時 限	時 間
1時限	9 : 00 ~ 10 : 30
2時限	10 : 40 ~ 12 : 10
3時限	13 : 10 ~ 14 : 40
4時限	14 : 50 ~ 16 : 20
5時限	16 : 30 ~ 18 : 00

◆休 講

台風接近に伴う公共交通機関の運休・遅延、授業担当教員が病気になるなど、やむを得ない理由により授業ができなくなり休講となる場合があります。休講情報は、原則 Juntendo-Passport でお知らせします。

なお、通常の場合においても授業開始時間から30分経過したにも関わらず授業担当教員が教室に来ない場合には、教務課まで連絡してください。

気象警報の発表による休講

午前6時の時点で以下の警報が東京23区に発令されていた場合、午前の授業を休講とします。
午前10時の時点で東京23区に以下の警報が発令されていた場合、午後の授業を休講とします。

・対象となる警報

暴風警報、大雨警報、洪水警報、波浪警報、特別警報

交通機関の運休による休講

午前6時の時点で以下の路線で台風による運休が発生していた場合、午前の授業を休講とします。

午前10時の時点で以下の路線で台風による運休が発生していた場合、午後の授業を休講とします。

・対象路線

JR 総武線・中央線、千代田線、丸ノ内線、都営大江戸線

◆補 講

補講は、前期・後期にそれぞれ設定している補講期間に原則として実施します。時期が近づくと補講を行う授業について原則 Juntendo-Passport でお知らせします。なお、補講期間以外でも補講が必要となる場合には、別途実施する場合があります。科目担当者の指示や日頃の掲示情報にも注意してください。補講は、通常の授業と同様に扱われます。

◆欠席・遅刻・早退について

望ましくありませんが、公共交通機関の運休・遅延、体調不良、忌引きなど、やむを得ない事由により欠席する（した）場合には、速やかに科目担当者に「①欠席理由を証明する物 ②欠席届（所定の様式）」を提出してください。「欠席届」用紙は、保健医療学部事務室（お茶の水センタービル1階）にあります。

また、遅刻・早退する（した）場合には、速やかに科目担当者に「①遅刻・早退理由を証明する物」を提出してください。

ただし、これらの書類の提出により特別な配慮が確実に保証されるものではありません。場合によっては、成績評価から減点扱いと判断する場合もあり得ます。

（「①欠席・遅刻・早退理由を証明する物」提出時の注意事項）

理由	証明書類	注意事項
病 気	医師が発行した診断書	診断書には、 「病名、病状、受講できる状態ではなかったこと」が記載されていることが必要です。また、 「受講できなかった日付が受診日または療養期間として明記されていること」が必要です。 感染症などを理由に登校不可と診断された場合、試験受験に影響が生じる場合には、必ず事前に教務課まで連絡してください。
親族の忌引 （三親等以内）	会葬礼状のはがき等	「受講できなかった日付が記載されていること」が必要です。
公共交通機関の 遅延など	各交通機関が発行した 遅延等証明書	「受講できなかった日付が記載されていること」が必要です。 「通常使用している自宅⇄大学間の路線」の遅延等のみが対象です。

◆授業教室について

登録した科目の授業教室は、配布する時間割表で確認してください。ただし、前期及び後期の授業開始直後は収容定員などの都合により当初予定していた教室から変更となる場合がありますのでご注意ください。教室変更の情報は、原則、Juntendo-Passport を通じてお知らせします。定期的に確認してください。また、初回の集合場所が通常の利用教室と異なる場合があります。詳細は、保健医療学部事務室（お茶の水センタービル1階）の掲示板でお知らせしますので各自確認して下さい。

◆ナンバリングについて

授業科目に適切な番号を付し分類することにより、学修の段階や順序等を表して教育課程の体系を明示するものです。授業科目を分類し、対象分野とレベル（学問等）などを示していますので「教育課程等の概要（授業科目一覧）」と併せて皆さんが授業科目を選択する際の参照基準としてください。ナンバリングは配付した教育要項（シラバス）に記載されています。

試験運営

◆試験の種類について

試験の種類については大きく分けて以下の3通りです。試験は、前期と後期にそれぞれ行われます。「どんな形式で実施するのか」「どんなポイントを評価するのか」などの詳細は、各科目担当者の説明をしっかりと聞きましょう。シラバスでも詳細を確認できます。

試験種類	実施日／提出方法・期限等	追試験対象	再試験対象
定期試験	年間スケジュール表に記載のある定期試験期間内に行う試験です。	○	○
授業内試験	通常の授業内で科目担当者の指示に基づき実施される試験です。実施日や実施要領等は、科目担当者の指示に従って下さい。	×	×
レポート試験	通常の授業内で科目担当者の指示に基づき実施される試験です。提出方法・期限等は、科目担当者の指示に従って下さい。	×	×

試験実施後、担当教員からの個別の指示がある場合には、それに従って下さい。
「追試験／再試験」制度の詳細については、次ページ以降を参照してください。

◆定期試験における入室制限について

定期試験の場合、試験開始時刻から30分以内であれば試験場に入室できます。ただし、試験時間の延長は行いません。30分以上遅刻した場合には、原則、当日の受験が出来ません。なお、理由によっては後日「追試験」が適用される場合があります。

◆追試験について

定期試験を下記の事由により受験できなかった者に対して「追試験願」（所定様式）を提出し、然るべき審査機関の承認に基づき、後日、試験を受験できる制度です。

申請希望者は、追試験願に必要事項を記入し、指定の期日内に教務課まで申請してください。以下、注意事項です。

- ・追試験期間は「年間スケジュール表」で確認してください。
- ・申請は極力当日が望ましいですが、該当試験日から起算して3日以内に行ってください。
- ・教務課窓口でのみ申請可。（Juntendo-Passport上では行いません）
- ・申請時には、証明書類の添付が必要です。
- ・追試験料は、かかりません。
- ・追試験期間が決められています。追試期間内に受験ができない場合には、申請できません。
- ・実施日等の詳細は、教務課からお知らせ致します。
- ・申請後、追試験を受験しなかった場合、いかなる事由でも「(未受験による)不合格」となります。

理由	証明書類	注意事項
病 気	医師が発行した診断書	診断書には、 「病名、病状、試験当日に受験できる状態ではなかったこと」 が記載されていることが必要です。また、 「受験できなかった試験日が受診日または療養期間として明記されていること」が必要です。 感染症などを理由に登校不可と診断された場合で申請期限内に提出できない場合、必ず教務課まで事前に連絡してください。 連絡がない場合、申請は受理できません。
親族の忌引 (三親等以内)	会葬礼状のはがき等	試験が受験できなかった日付が記載されていることが必要です。試験日が移動日の場合、原則として申請はできません。
公共交通機関の 遅延・運休など	各交通機関が発行した 遅延・運休等証明書	通常使用している 自宅⇄大学間 の路線の遅延・運休等のみ 申請可となります。

上記以外の理由（部活動、就職活動など）については、追試験の申請はできません。

大震災などの災害が生じた場合には、身の安全を第一優先とし、無理のないよう行動してください。

また、裁判員制度での選任などの場合には、別途対応を指示しますので教務課まで相談してください。

◆再試験について

「定期試験」を受験した結果、「不合格」となった者に対して「再試験願」（所定様式）を提出し、

試験を再度、受験できる制度です。ただし、対象者は審議の結果、認められた学生のみとなります。

不合格者全員が対象となるわけではありません。対象者は掲示等で発表します。

申請希望者は、再試験願に必要事項を記入し、指定の期日内に教務課まで申請してください。

- ・再試験期間は「年間スケジュール表」で確認してください。
- ・再試験料（5,000円／科目）がかかります。
- ・教務課窓口でのみ申請可。（Juntendo-Passport上では行いません）
- ・再試験期間が決められています。再試験期間内に受験ができない場合には、申請できません。
- ・実施日・申請期限等の詳細は、教務課からお知らせ致します。
- ・再試験を受験しなかった場合は、「(未受験による)不合格」となり本試験の評価が採用されません。
- ・「追試験」を受験した結果、不合格となった場合でも再試験制度の適用はありません。
- ・その他、科目担当者からの指示がある場合にはその指示に従ってください。

◆再試験の対象科目及び申請上限数について

- ・「卒業必修科目」「選択必修科目」のみ対象です

◆不正行為の禁止について

当たり前のことですが、不正行為は決して行ってはいけません。絶対にやめましょう。万が一、不正行為が発覚した場合には、以下の通り、厳正な対応を行います。

試験中試験監督者が、学生の不正行為を発見してその事実を確認したときは、その学生を試験場外に退出させます。

不正行為を行った学生は、当該試験期間中当該科目以後のすべての試験科目を受験することが出来なくなり、当該試験期間中の試験もすべて無効となります。

不正行為を行った学生については、その氏名を公表し、再試験等の代替措置は行いません。試験終了の後においても、当該科目担当者が不正行為があったと判断し、その事実を確認したときは上記と同じ処置を適用します。

◆成績について

成績評価と判定基準は以下の通りです。

なお、表内の「GP (Grade Point)」の活用方法については、「GPAについて」の説明を参照してください。

指標	合格				不合格
評価	S	A	B	C	D
評価基準	到達目標を十分に達成し、極めて優秀である。	到達目標を十分に達成している。	到達目標を相応に達成している。	到達目標の最低限は満たしている。	到達目標の最低限の水準を満たしていない。
素点	100-90	89-80	79-70	69-60	59-0
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

※再試験に合格した場合は、60点とし、評価は「C」となる。

◆進級要件について

保健医療学部では、次の学年に進級するための制限を設けています。1, 2, 3年次では、各学年に開講される必修科目をすべて履修し、単位を修得していること、かつGPA平均1.0以上が要件となります。

◆成績評価の確認及び成績に対する異議申立てについて

保健医療学部では、一定の基準に基づき、成績評価の確認及び意義を申し立てることができます。成績評価の確認を行う学生は、成績評価確認願を提出が必要となるので、保健医療学部事務室（御茶ノ水センタービル1階）にお問い合わせください。成績評価確認願提出の締め切りは、成績公開後1週間以内とします。

ディプロマポリシー／学位授与の条件

保健医療学部では、「本学の学是である「仁」の精神に基づき、人間尊重の理念と高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学や医療に係る基本的知識に裏打ちされた科学的根拠に基づく専門的知識及び医療技術を教授して、確かな実践能力と態度を身につけ、自己成長を目指して主体的に学修を継続することのできる資質の高い医療専門職者を養成する」ことを教育研究上の目的とします。卒業時に次の資質・能力を身に付けた者に対し、学士の学位を授与します。

<保健医療学部共通>

1. 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力
2. 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力
3. 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力

<理学療法学科>

保健医療学部共通の資質・能力に加え、次の資質・能力を身に付けた者に『学士（理学療法学）』の学位を授与します。

1. 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力
2. 理学療法を必要としている人々を全人的に理解する能力
3. 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている
4. 理学療法学を必要としている人々に対して、科学的根拠に基づき理学療法を実践できる能力
5. 理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力

<診療放射線学科>

保健医療学部共通の資質・能力に加え、次の資質・能力を身に付けた者に『学士（診療放射線学）』の学位を授与します。

1. 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力
2. 放射線技術を必要としている人々を全人的に理解する能力
3. 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている
4. 放射線技術の対象及び目的について理解し、健康や障害の状態に応じて科学的根拠に基づく放射線技術を実践できる能力
5. 放射線技術学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力

ディプロマポリシー・コンピテンシー対応表

理学療法学科ディプロマポリシー・コンピテンシー対応表

ディプロマ・ポリシー		コンピテンシー		
共通DP1	人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力	I	倫理とプロフェッショナリズム	① 医の倫理・生命倫理および患者の権利について理解し、医療人としての倫理観を身につけ、それに沿って行動できる
			② 患者の人権を尊重し、守秘義務を果たすことができる	
		II	社会的貢献	③ インフォームド・コンセントを理解し、実践できる
			④ 社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる	
共通DP2	医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力	I	専門的知識と実践能力	① 医療人として社会からの期待を意識し、適切に行動できる
				② 健康総合大学である順天堂大学で学んだ者として『仁』の精神に基づき、思いやりを持った行動ができる。
				③ 医の歴史を理解した上で、医学・医療・理学療法法の発展を目指すことができる
				④ 健康に与える運動の影響を考慮した医療を提言できる
共通DP3	自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力	I	自律的学習能力と科学的探究心	⑤ 国際的に活躍できる語学力、臨床および研究能力を身につける
				⑥ 身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる
				⑦ 医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる
				⑧ エビデンスに基づく理学療法を理解し、それに基づく基本的な理学療法を計画、実践できる
理学DP1	人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力	I	倫理とプロフェッショナリズム	⑨ 患者の立場と心情を理解し、適切な理学療法を提供できる
				⑩ 医療安全の重要性を理解し、理学療法に伴う基本的なリスク管理ができる
		II	社会的貢献	⑪ 保健・福祉・社会保障などの知識を身につけ、予防医療および地域医療に参加できる
				⑫ 自分の目標に向け適切な情報収集ができ、活用できる
理学DP2	理学療法を必要としている人々を全人的に理解する能力	I	チーム医療とコミュニケーション	⑬ つねに自らの能力を点検・評価し、生涯にわたって向上心と研究心をもつことができる
				⑭ 最新のエビデンスに基づく医学・医療情報の収集を継続的に実践できる
				⑮ 研究の意義を十分に理解し、科学的探究心や向上心を持つことができる
				⑯ 理学療法研究の課題を発見し、発展させることができる
理学DP3	人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている	I	専門的知識と実践能力	⑰ 研究プロセスを理解して課題を実践し、結果について解析および考察し、的確に伝えることができる
				⑱ 医の倫理・生命倫理および患者の権利について理解し、医療人としての倫理観を身につけ、それに沿って行動できる
				⑲ 患者の人権を尊重し、守秘義務を果たすことができる
				⑳ インフォームド・コンセントを理解し、実践できる
理学DP4	理学療法を必要としている人々に対して、科学的根拠に基づき理学療法を実践できる能力	I	専門的知識と実践能力	㉑ 社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる
				㉒ 医療人として社会からの期待を意識し、適切に行動できる
				㉓ 患者、家族、他の医療職種と信頼関係が構築でき、良好なコミュニケーションがとれる
				㉔ 患者、家族の思いや苦しみを理解することができる
理学DP5	理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力	I	自律的学習能力と科学的探究心	㉕ わかりやすい言葉を使いながら、必要な医療情報を共有し、正確な意思疎通・プレゼンテーションができる
				㉖ 他の医療職種のそれぞれの役割を理解し尊重しながら、患者中心の医療を提供するために連携することができる
				㉗ 身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる
				㉘ 医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる

ディプロマポリシー・コンピテンシー対応表

診療放射線学科ディプロマポリシー・コンピテンシー対応表			
ディプロマポリシー		コンピテンシー	
共通DP1 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力	I	倫理とプロフェッショナルリズム	① 医療人としての倫理観を身につけ、それに沿って行動できる
			② 患者の人権を尊重し、守秘義務を果たすことができる
			③ 社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる
	II	社会的貢献	① 保険医療制度を理解し、患者・国民のニーズに応じた医療を概説できる
			② 地域医療や災害医療を理解し、専門職としての責務を説明できる
			③ 語学力や教養を備え、国際的視野から健康や疾病を説明できる
	III	順天堂大学で学んだ者としての誇りと責任	① 健康総合大学である順天堂大学で学んだ者として『仁』の精神に基づき、思いやりを持った行動ができる
			② 医の歴史を理解した上で、医学・医療の発展を目指すことができる
			③ 大学病院群と密に連携し、高度な実践的能力を身につけることができる
④ 語学力を高め、海外からの患者に対応する能力を養うとともに、世界に羽ばたく診療放射線技師を目指すことができる			
共通DP2 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力	I	専門的知識と実践能力	① 人体の構造や機能および疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、高度な専門的知識を身につけ実践することができる ② 診断・治療装置の特性を理解し、その技術を応用することができる ③ 放射線科学の基礎を理解し、最新の放射線技術との関連を説明できる
共通DP3 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力	I	自律的学習能力と科学的探究心	① 自ら課題を見つけ、適切に情報を収集し解決できる ② 後輩・同級生を指導し、共に学び合うことができる ③ 放射線技術学研究に対する興味を持ち、継続的に学修に取り組むことができる ④ 研究の意義を十分に理解し、科学的探究心や向上心を持つことができる
放射DP1 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力	I	倫理とプロフェッショナルリズム	① 医療人としての倫理観を身につけ、それに沿って行動できる
			② 患者の人権を尊重し、守秘義務を果たすことができる
			③ 社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる
II	社会的貢献	① 保険医療制度を理解し、患者・国民のニーズに応じた医療を概説できる	
		② 地域医療や災害医療を理解し、専門職としての責務を説明できる	
		③ 語学力や教養を備え、国際的視野から健康や疾病を説明できる	
放射DP2 放射線技術を必要としている人々を全人的に理解する能力	I	チーム医療とコミュニケーション	① 患者、家族、他の医療職種と信頼関係が構築でき、良好なコミュニケーションがとれる ② 患者、家族の思いや苦しみを理解することができる ③ チーム医療の一翼を担い、多職種間の連携をとりながら自らの専門知識・技術を活用できる
放射DP3 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている	I	専門的知識と実践能力	① 人体の構造や機能および疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、高度な専門的知識を身につけ実践することができる ② 診断・治療装置の特性を理解し、その技術を応用することができる ③ 放射線科学の基礎を理解し、最新の放射線技術との関連を説明できる
放射DP4 放射線技術の対象及び目的について理解し、健康や障害の状態に応じて科学的根拠に基づく放射線技術を実践できる能力	I	専門的知識と実践能力	① 人体の構造や機能および疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、高度な専門的知識を身につけ実践することができる ② 診断・治療装置の特性を理解し、その技術を応用することができる ③ 放射線科学の基礎を理解し、最新の放射線技術との関連を説明できる
放射DP5 放射線技術学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力	I	自律的学習能力と科学的探究心	① 自ら課題を見つけ、適切に情報を収集し解決できる ② 後輩・同級生を指導し、共に学び合うことができる ③ 放射線技術学研究に対する興味を持ち、継続的に学修に取り組むことができる ④ 研究の意義を十分に理解し、科学的探究心や向上心を持つことができる

事務室の窓口業務等

■担当窓口

本郷・お茶の水キャンパス保健医療学部事務室

■業務時間

平日： 9：00 ～ 17：10

土曜日： 9：00 ～ 13：00

（但し、第2土曜日・日曜日・祝日・年末年始・創立記念日は除く）

■所在地／連絡先

〒113-0033

東京都文京区本郷3-2-12 お茶の水センタービル1階

☎：03-3813-3111（大代表）／ 03-3812-1780（直通）